

ナガバイヌツゲ

か めい
科名 モチノキ

べつ めい
別名

がく めい
学名 *Ilex maximowicziana*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶ
分 布 かごしま あまみ おおしまいなん おきなわ
鹿児島 (奄美大島以南)、沖縄

は かたち
葉 の 形 だえんけい ひしんけい
楕円形、さかさ被針形

は ふち
葉 の 縁 きよし
鋸歯

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゅるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きふ くさびがた
葉 の 基部 くさび形

み しゅるい かくか
実 の 種類 核果

はな がくいろ しろいろ
花・萼色 白色

せつ 説
めい 明
山地の林内に生育し、高さ3-10mの常緑の小高木です。若枝には目立つ溝の様なものがあります。葉は互生し楕円形などで、長さ3-8cm、幅1.5-3cmです。葉の先はやや尖り、その先端はわずかにへこんでいます。両面無毛、葉の縁に浅い鋸歯がまばらにあります。白い花が2個から3個集まって葉腋から咲きます。実は球形で径約7mm、黒く熟します。雌雄異株。